

Ⅲ 遠隔授業システム操作マニュアル

1 遠隔授業システムの設定	
(1) 機器接続	①Webカメラの接続 ②スピーカーホンの接続 ③プロジェクタの接続 ④実物投影機(書画カメラ)の接続
(2) ソフトウェアのインストール	Skype for Businessのインストール
2 遠隔授業開始／終了	
(1) システムの起動	Skype for Businessを起動し、遠隔授業を開始する準備をします。 受信校と接続し、遠隔授業を開始します。
(2) 機能の説明	<ul style="list-style-type: none">・インスタントメッセージ・音声通話・ビデオ通話・コンテンツ表示<ul style="list-style-type: none"><デスクトップの表示><PowerPointスライドの表示><ホワイトボード機能><投票機能><質疑応答>
(3) 参加者の招待	音声通話、ビデオ通話ともに参加者を追加招待することで、複数でのコミュニケーションが可能
(4) その他の設定	<ul style="list-style-type: none">・個人設定・オーディオデバイス設定・ビデオデバイス設定・オンライン会議の開始

2 - (1) 遠隔授業システム機器の設定



制御用パソコン



Webカメラ



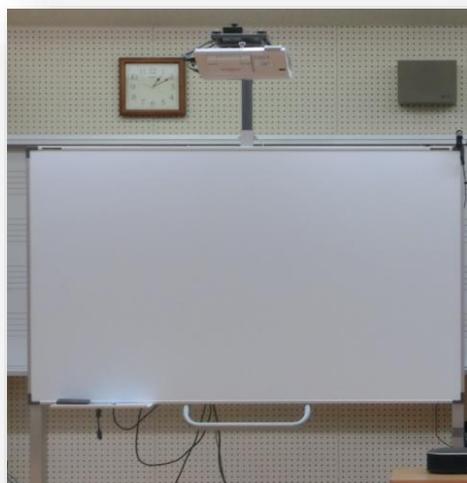
スピーカーホン



プロジェクタ型電子黒板

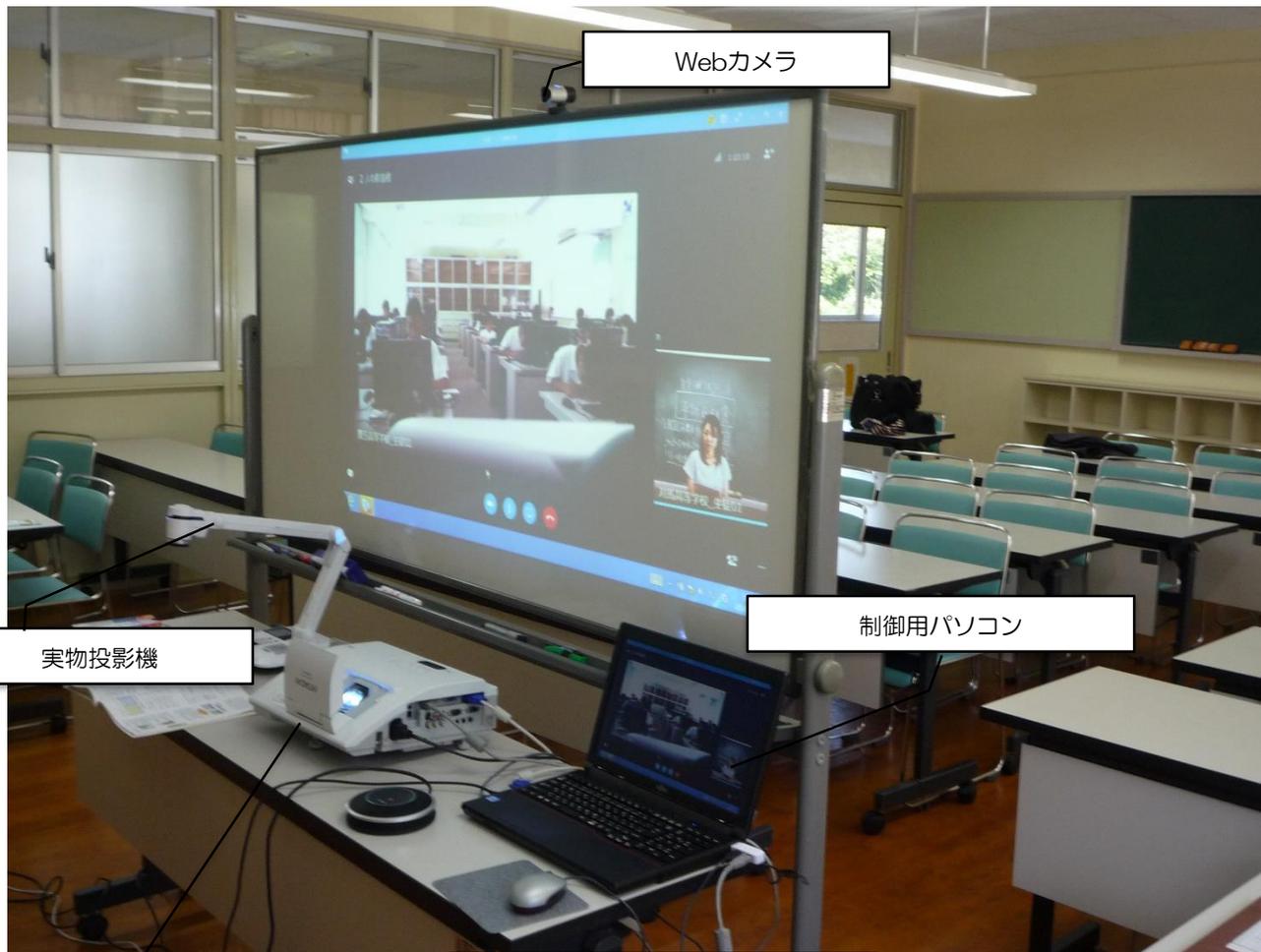


実物投影機



大型スクリーンボード

機器設置例（配信校側）



Webカメラ

実物投影机

制御用パソコン

スピーカーは足元

電子黒板機能付プロジェクタ



電子黒板機能付プロジェクタ

Webカメラ

制御用パソコン

マイク

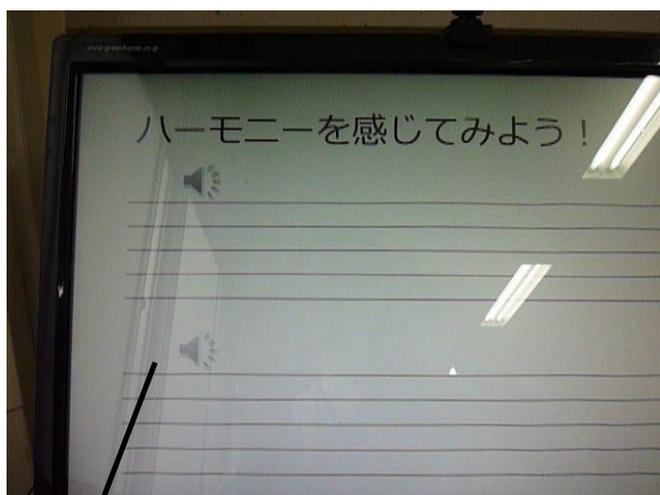
スピーカー

機器設置例（配信校側）

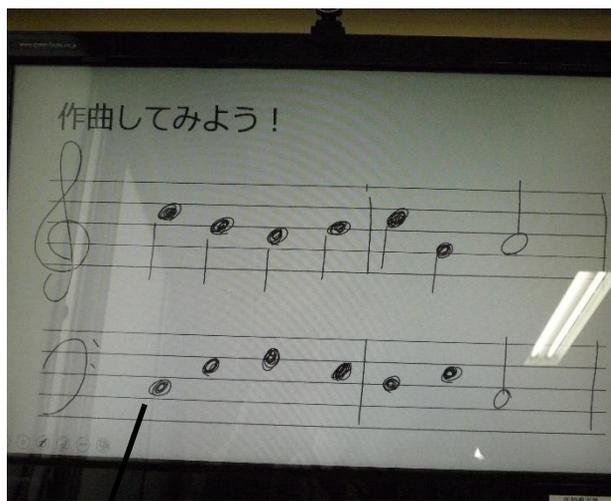


実技科目を遠隔授業で実施する上で、授業場所を会議室などで場所を固定しない研究を進めた。

音楽室や調理室・被服室などで実施する場合の機器移動の負担を軽減するために、最小限の機器設定を模索し、①制御用パソコン、②Webカメラ、③スピーカー・ホンでの実施は可能である。しかし、受信校生徒の映像などを見るためにPC画面では小さいため、④外部モニターを接続した。外部モニターを設置する際に、タッチパネルディスプレイを採用し、画面操作を可能にして、操作性を高めるとともに、画面書き込みを行うことで、双方向性を高めることができた。



マウスに持ち変えることなく、画面へのタッチで操作が可能

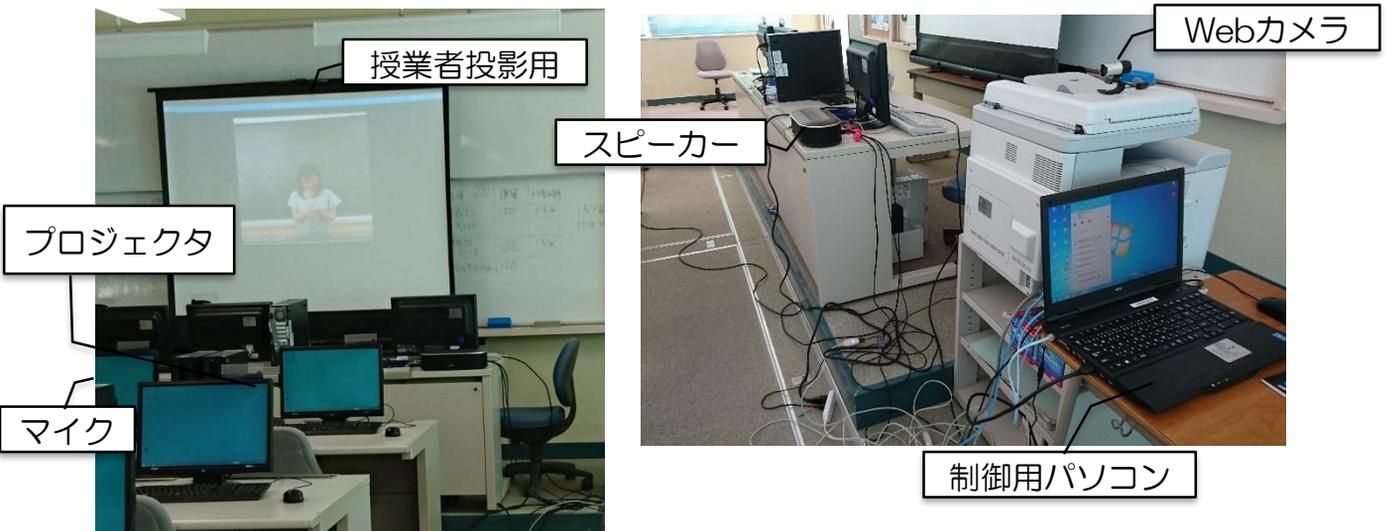


タッチペンで書き込みが可能

機器設置例（受信校側）



機器設置例（受信校側 PC教室）



配信校側と同様に、受信校側でも授業場所を会議室などで場所を固定せず、最小限の機器設定で遠隔授業を進めるための研究を行った。

通常利用する受信校側の音楽室（上段）に加えて、PC教室や調理室（次ページ）などで実施する場合の機器移動の負担を軽減するために、最小限の機器設定を模索し、①制御用パソコン、②Webカメラ、③スピーカーホン、④プロジェクタ、⑤スクリーンでの実施は可能である。しかし、それでも授業準備については大きな負担となっている。

機器設置例（受信校側 調理室）



1 - (2) Skype for Business の インストール方法

通常のSkypeとSkype for Businessは、異なりますので、必ず、Skype for Businessをインストールしてください。

方法1) Skype for Business Basic をインストールして、更新プログラムにより Skype for Business にアップグレードする方法。

1. ダウンロードセンターからパソコンのOSに対応したインストールプログラムをダウンロードしてください。

- ・ lyncentry_4351-1001_x64_ja-jp.exe (64 bit 版)
- ・ lyncentry_4351-1001_x86_ja-jp.exe (32 bit 版)

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=49440>

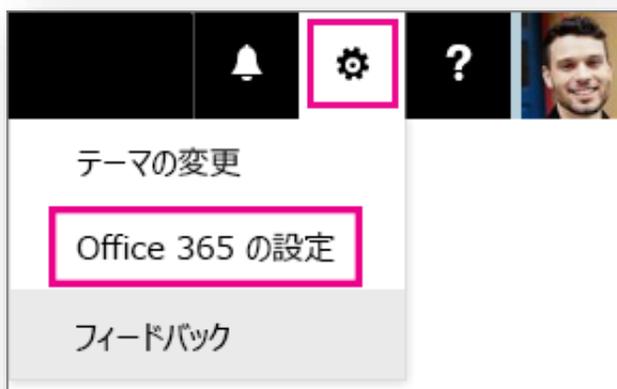
2. インストール後に、更新してください。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/2889923>

方法2) Office 365からダウンロードしてインストールする方法。

1. <https://portal.office.com/> でOffice365にサインインします。

2. Office365ページの上部に、[Office365の設定]の順に選びます。



3. [ソフトウェア]を選びます。



4. Office 365 プランに応じて、次のように操作します。

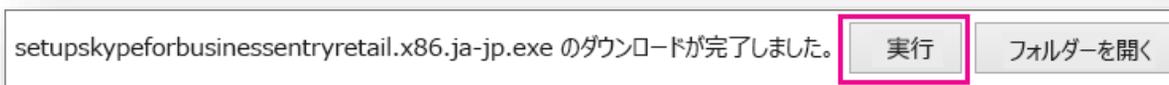
- 次のページが表示される場合は、[**Skype for Business**] を選び、言語と、他の Office アプリケーションと同じエディション (**32 ビット**または **64 ビット** - わからない場合は既定の設定を選んでください) を選び、[**インストール**] を選びます。次に、**手順 5 に進みます**



5. 画面の下部で [**名前を付けて保存**] を選んで、**setupskypeforbusinessentryretail.exe** ファイルをコンピューターにダウンロードします。



6. setupskypeforbusinessentryretail.exe ファイルのダウンロードが完了した後、[**実行**] を選びます。



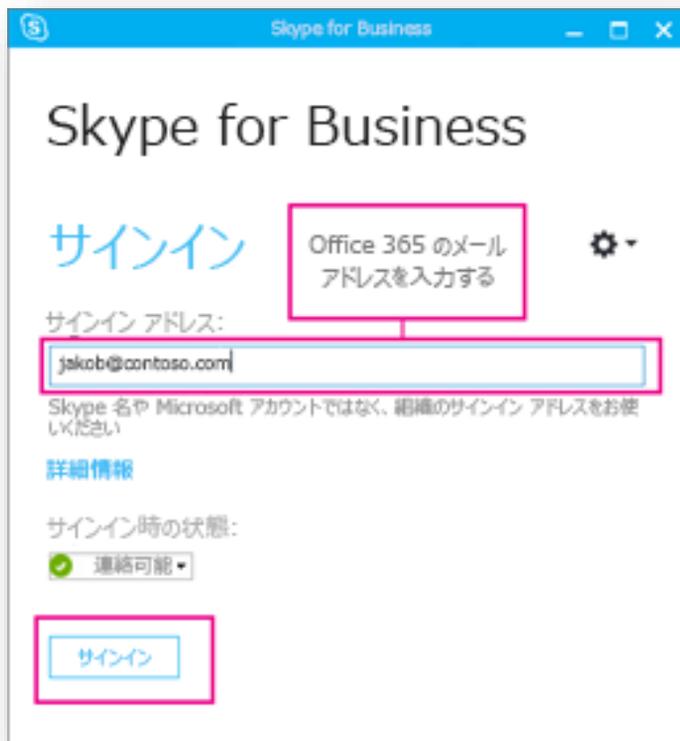
- Officeインストーラーが起動し、Officeをインストールしていることを示すメッセージが表示されます。
- ただし、Skype for Business のみがインストールされます。
- Office のすべてがインストールされるわけではありません

7. Office インストーラーが終了すると、Office がコンピューターにインストールされたことを示すメッセージが表示されます。ただし、Skype for Business のみがインストールされています。[**閉じる**] を選びます。

8. Skype for Business を起動します。[はじめに] ボックスで、ライセンス契約に同意する場合は、[**同意する**] を選びます。

2 - (1) Skype for Businessの起動

1. 配布されているユーザー ID とパスワードを入力し、[サインイン] を選びます



2. 遠隔会議をしたい相手を探します。

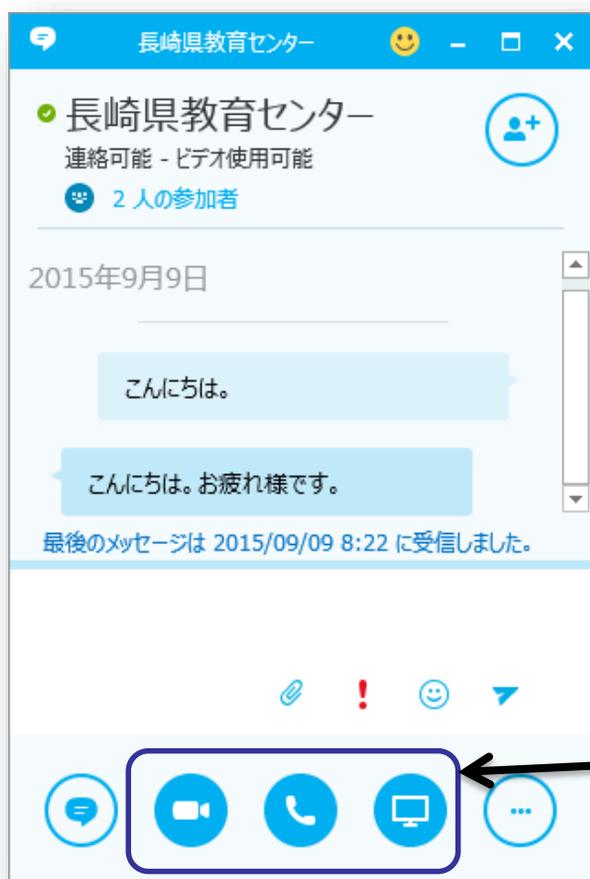


検索バーに「ユーザ名」や「サインインアドレス」を入力すると、候補がリストに表示されます。

左側の顔アイコンにカーソルを合わせると、
・インスタントメッセージ
・音声通話
・ビデオ通話
・連絡先カードの表示
・オプション
のアイコンが表示されます。

2- (2) Skype for Businessの機能説明

1. インスタントメッセージ



- テキストメッセージの送受信が可能です。

- なお、この画面から、音声通話、ビデオ通話を開始することも可能です。

2. 音声通話



- マイクを使った音声通話ができます。

- なお、音声通話中にビデオ通話に切り替えることもできます。

3. ビデオ通話



- Webカメラとマイクによるビデオ通話ができます。



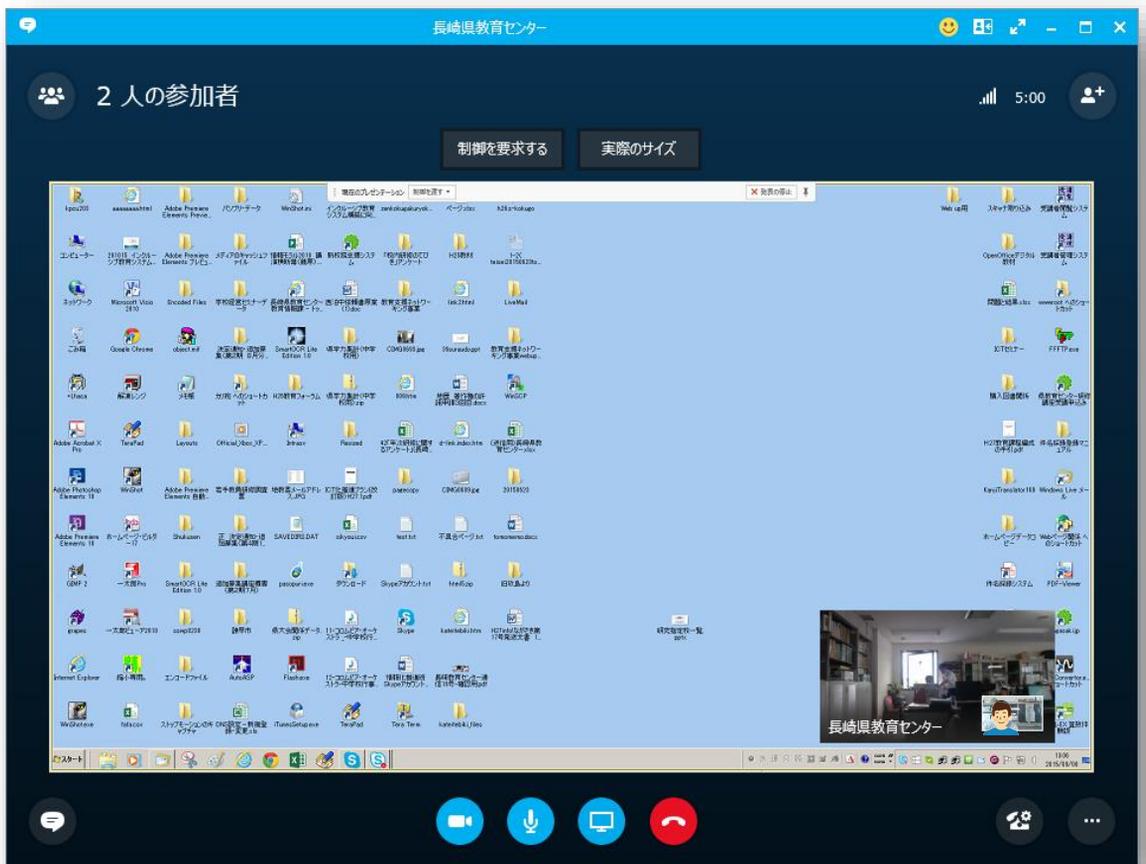
- なお、音声通話、ビデオ通話を受信する際には、呼び出しのウィンドウが表示されますので、承諾してください。

4. コンテンツ表示



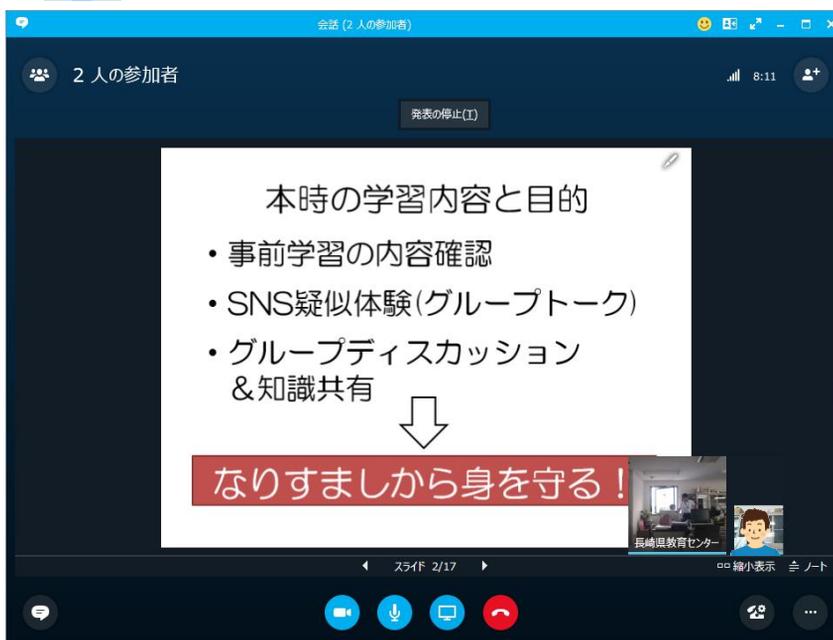
- 通話先や会議の参加者に対して、デスクトップ画面、PowerPointスライドなど、様々なコンテンツを表示、共有することができます。

4. コンテンツ表示<デスクトップの表示>



- PCの画面全体を表示します。
※「プログラムの表示」は、特定のアプリケーション画面のみを表示します。

5. コンテンツ表示<PowerPointスライドの表示>



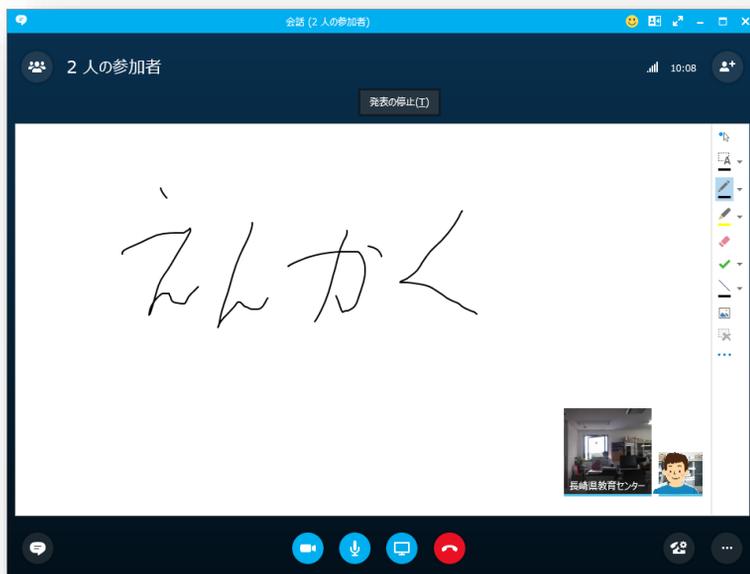
- PowerPointファイルを表示します。
- スライドショーや画面への書込みも可能です。

6. コンテンツ表示<その他の機能>



- ホワイトボード
テキスト、画像等の書込み
- 投票
- 選択肢による投票
- 質疑応答
テキストメッセージによる
質問や回答

<ホワイトボード機能>



6. コンテンツ表示<その他の機能>

<投票機能>



投票の作成

投票名:
投票

質問:
今日の授業はわかりましたか？

選択肢:

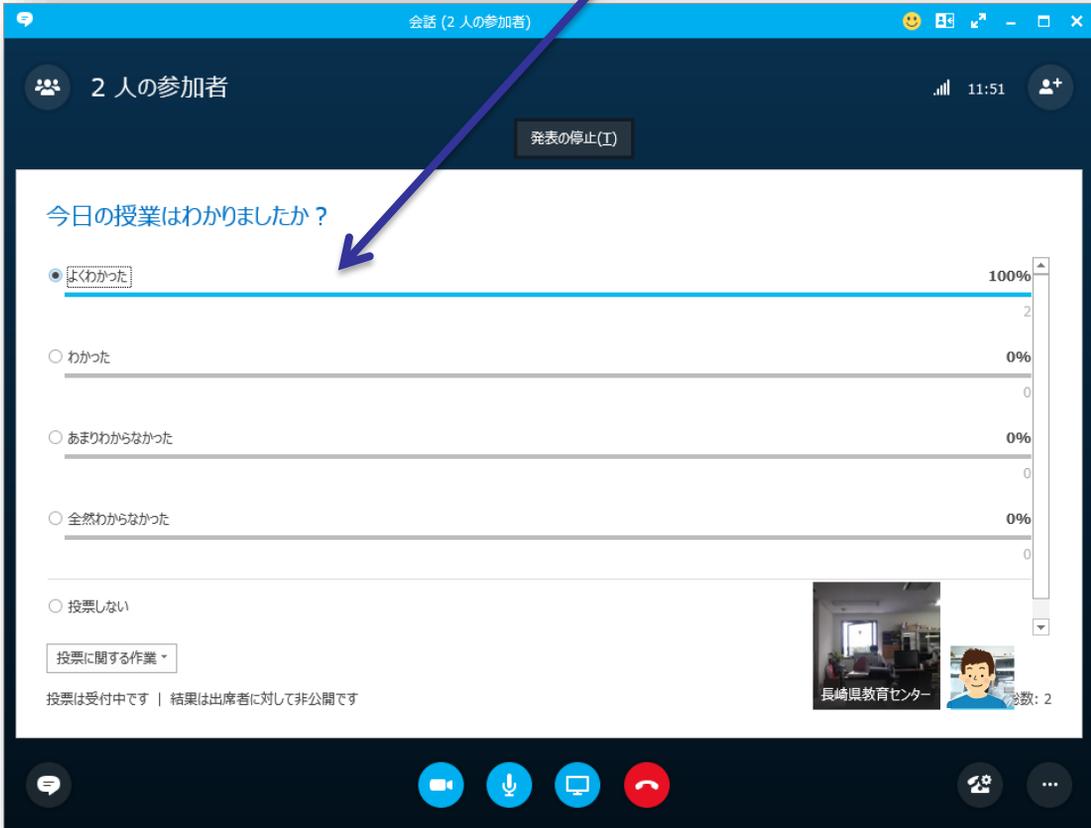
- よくわかった
- わかった
- あまりわからなかった
- 全然わからなかった
-
-
-

作成 キャンセル

① 選択肢を作成

② 投票

③ 投票結果を確認することも可能



会話 (2人の参加者)

2人の参加者

発表の停止(T)

今日の授業はわかりましたか？

選択肢	割合
<input checked="" type="radio"/> よくわかった	100%
<input type="radio"/> わかった	0%
<input type="radio"/> あまりわからなかった	0%
<input type="radio"/> 全然わからなかった	0%
<input type="radio"/> 投票しない	0%

投票に関する作業

投票は受付中です | 結果は出席者に対して非公開です

長崎県教育センター 総数: 2

6. コンテンツ表示<その他の機能>

<質疑応答>



2 - (3) 参加者の招待



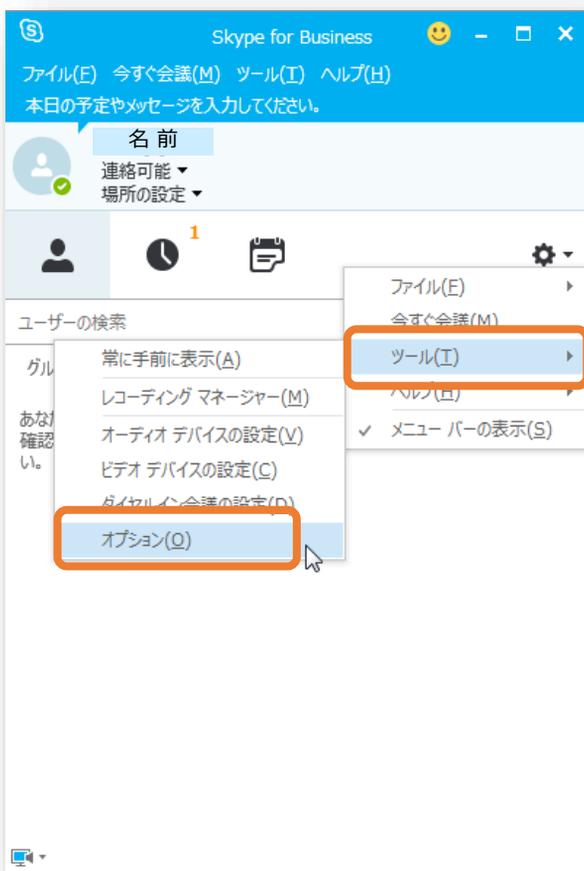
- 音声通話、ビデオ通話ともに参加者を追加招待することで、複数人でのコミュニケーションが可能です。



- グループ通話が可能となります。

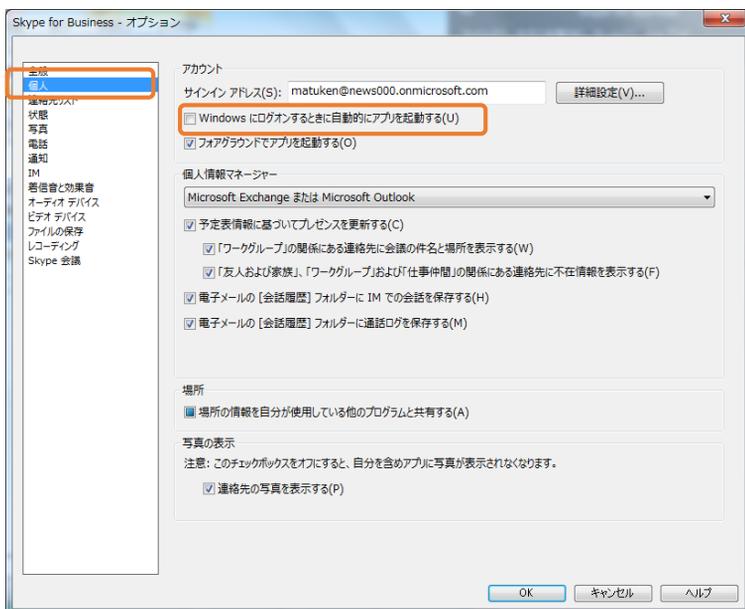
2- (4) Skype for Businessの設定

<その他設定>



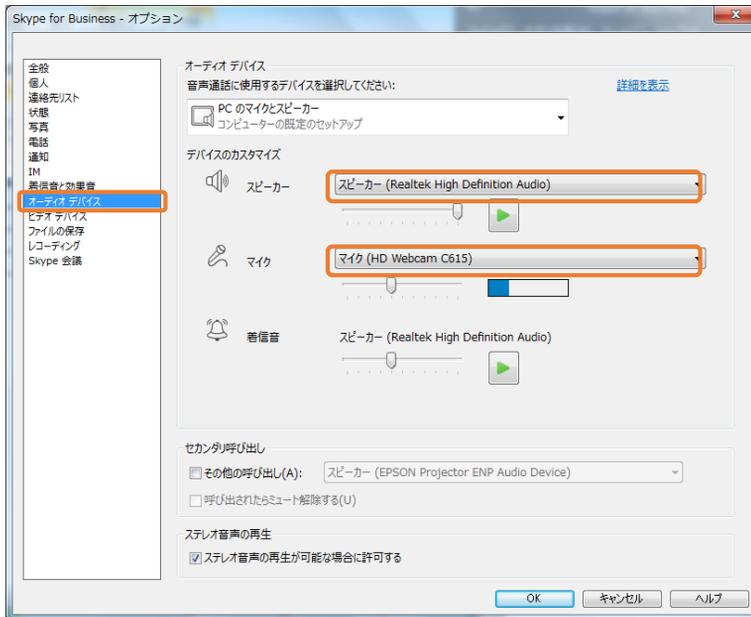
- [ツール]→[オプション]から各種設定を行います。

<個人設定>



- Windowsログオン時の自動起動設定などを行います。
- 自動起動しない場合は、該当チェックを外してください。

<オーディオデバイス設定>

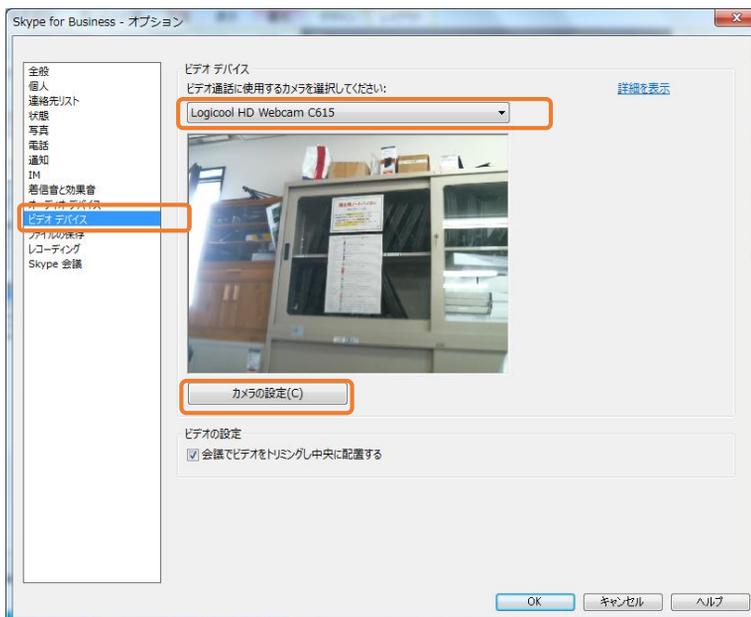


- 音声通話、ビデオ通話の際に使用するスピーカーやマイクの設定を行います。

※1 Webカメラのマイクでは、広範囲の音声を拾いにくいため、必要に応じてスピーカーフォンに変更してください。

※2 機器トラブルの場合は、この画面に該当機器が表示されているか確認します。

<ビデオデバイス設定>



- ビデオ通話に使用するWebカメラの選択、カメラ映像についての詳細設定を行います。

※1 部屋の明るさ等に応じて、カメラの設定を変更すると、映像が見えやすくなります。

※2 機器トラブルの場合は、この画面に該当機器が表示されているか確認します。

<オンライン会議の開始>



- あらかじめ、複数人でのコミュニケーションを行う際には、オンライン会議を用いると便利です。
- [今すぐ会議]メニューを選択します。



- 「Skype for Businessを使用する」を選択し、[OK]ボタンを押します。

- 会議が開始されます。
- 最初の参加者は自分のみです。
- 画面右上のアイコン又は左下のボタンで、参加者を招待します。





- 招待するユーザを選択します。



- グループでのテキストチャットや音声、ビデオ通話、コンテンツ表示機能を用いたプレゼンテーションが可能です。
- なお、映像が表示されない、音声が聞こえないなどのトラブル時は、ミュートの可能性がありますので、それぞれのアイコンでミュートを解除してください。

